

## ◆ 西大手門

現在建物は解体し、部材を倉庫に保管しました。崩落した石材も一部回収しました。



被災状況 H28(2016)4月



西大手門解体 H31(2019)1月



解体終了 H31(2019)3月

## ◆ 二の丸御門跡

崩落した石材を回収して、安全対策を行いました。平成30年11月に通行できるようになりました。



被災状況 H28(2016)4月



崩落石材回収作業 H30(2018)5月



通路開通 H30(2018)11月

## 『復興熊本城 vol.2 天守復興編！』書店にて発売中です！



平成28年(2016)の熊本地震によって甚大な被害を受けた熊本城の記録集を、20年かけて定期的に発行します。vol.2では、昭和35年(1960)の天守閣再建までの天守の歴史や、平成30年度上半期までの復旧工事の様子などを収録しました。熊本県内の書店などで発売しています。vol.3は、2019年10月刊行予定です。

## 熊本県立美術館と熊本博物館で連携展示開催中！

### 熊本県立美術館 本館

きらめく!大名道具  
— 細川家の「文」の世界 —  
(4月13日~7月7日)



2019年上半期の展覧会  
・熊本地震と文化財 (4月13日~7月7日)  
・大名細川家の歴史と美 (7月23日~10月14日)

熊本市中央区二の丸2番 096-352-2111  
開館時間など詳細はホームページまで



### 熊本博物館

きらめく!大名道具  
— 細川家の「華」と「武」の世界 — (4月20日~7月7日)

本館では国指定重要文化財 細川家舟屋形(波奈之丸)を常設展示しています。



波奈之丸  
(所有者 永青文庫  
管理団体 熊本市)

※波奈之丸：藩主が参勤交代で使用した御座船  
熊本市中央区古京町3-2 096-324-3500  
開館時間など詳細はホームページまで



## 熊本城ミュージアム Kumamoto Castle Museum Wakuwakuza

城彩苑内わくわく座では、熊本城の歴史にまつわる体験ができます。熊本城の復旧に関する展示や熊本城VR映像も上映しています。



熊本市中央区二の丸 1-1-1 096-288-5600  
開館時間など詳細はホームページまで



飯田丸五階櫓台石垣解体現場から現われた埋没石垣

# 熊本城

～復興に向けて～

令和元年 春夏号





## ◆ 天守閣

大天守は石垣の復旧工事が全て終了し、現在建物の耐震工事・出口安全対策工事などを行っています。小天守は石垣の積み直しを行い、最上階の再建工事を行っています。



被災状況 H28(2016) 4月



工事の状況 H31(2019) 1月



大天守出口安全対策 H31(2019) 2月



小天守内部石垣積み直し H31(2019) 2月

## ◆ 飯田丸五階櫓

現在石垣の解体作業を行っています。石材は1石ごとに番号を付けて回収します。内部のグリ石も人力で回収しています。石垣解体調査で、石垣内部から埋没した古い石垣(加藤清正時代の築城当初の石垣)が確認されました。



被災状況 H28(2016) 4月



石垣解体作業 H30(2018) 11月



石垣裏グリ石解体 H30(2018) 11月



埋没石垣検出状況 H31(2019) 3月

## ◆ ながべい 長塀 (国指定重要文化財)

発掘調査を平成31年1月までに行い、江戸時代の控柱(\*)の一部を発掘しました。現在、長塀の復旧工事を行っています。



被災状況 H28(2016) 4月



江戸時代控柱 H30(2018) 10月



復旧工事中 H31(2019) 3月

## ◆ 平櫓 (国指定重要文化財)

石垣の膨らみが大きいため、崩落防止のため石垣正面に仮設構台を建設しました。今後、建物の解体を行います。



被災状況 H28(2016) 4月



鉄骨仮設構台設置終了 H31(2019) 2月

## ◆ けんもつやぐら 監物櫓 (国指定重要文化財)

建物の解体は平成31年3月に終了しました。回収した建物部材は、倉庫に保管しました。



被災状況 H28(2016) 4月



屋根瓦回収作業 H30(2018) 11月



櫓本体解体作業 H31(2019) 2月

## 熊本地震における熊本城の被災状況

熊本城全体の石垣 : 973面、約79,000㎡  
特別史跡熊本城跡の土地面積 : 約512,000㎡

平成28年4月16日 1時25分「本震 M7.3」

※前震での被害を含む

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	13棟	倒壊2棟、一部倒壊3棟。他は屋根・壁破損など
復元建造物	20棟	倒壊5棟。他は下部石垣崩壊、屋根・壁破損など
石垣	崩落・膨らみ・緩み 517面 (うち崩落50箇所、229面)	約23,600㎡ (全体の29.9%) (うち崩落約8,200㎡ (全体の10.3%))
地盤	陥没・地割れ70箇所	約12,345㎡
便益施設・管理施設	26棟	屋根・壁破損など

